

家庭菜園でさといもを栽培しているみなさまへ

令和 5 年 6 月
さといも振興研究会

全国有数のさといも産地の入間地域で、令和元年から「サトイモ疫病」という、さといもの重要病害が発生しています。今年も引き続き注意が必要です。



サトイモ疫病ってどんな病気？

- ◆さといもの仲間だけに感染。
- ◆感染力が強く収量が激減します。
- ◆平均気温が 20℃以上となる 6 月～9 月に発生し、降雨により周囲に広がります。



ご自身の畑のさといもがサトイモ疫病に感染しないよう、ご注意ください。もし、右写真のような症状を見つけた場合は、下記の川越農林振興センターまで連絡をお願いします。

★ これからできるサトイモ疫病対策

【農薬散布】

散布時期	薬 剤 例
6月中旬～7月上旬	ペンコゼブ水和剤(500倍、散布2回まで) ＋展着剤スカッシュ(2,000倍)
7月中旬～8月下旬 台風後	ダイナモ顆粒水和剤(2,000倍、散布3回まで) ＋展着剤スカッシュ(2,000倍)

- ・病気が発生する前からの散布が効果的です。地上部全体がぬれるように散布します。
- ・気温の高い日中の散布は薬害が出る恐れがあるので避けましょう。
- ・農薬の購入については、お近くの J A ・農薬販売店・ホームセンター等にお問い合わせください。

令和 5 年 5 月 10 日現在の農薬登録内容で作成しています。

農薬使用時は、必ず農薬ラベルを確認し、周囲への飛散防止に努めましょう。

*** 全国有数のさといも産地をみんなで守りましょう！**

【お問合せ先】 埼玉県川越農林振興センター 農業支援部 ☎ 049-242-1804